

1971年8月7日 第3種郵便物認可（毎月6回 1の日・6の日発行）

2015年12月19日発行 SSKA 増刊通巻第8810号

SSKA ああるぴい

JRPS三重会報第19号

—◇ はじめに ◇—

年の瀬も押し迫ってきました。

今年、難病法が施行された「難病元年」ですが、まだ問題点も多々あります。でも、法律となって出発をしました。この法律がよりよいものになるように、これからもご支援とご協力をお願いします。

さて、2016年はビッグイベントが目白押しの年となります。

7月8日～11日（予定）、台北で行われるRIの世界大会に三重県からもツアーを計画して行きます。

このことは後日詳しいことが決まり次第、お知らせをさせていただきます。

9月24、25日、「網膜の日イン三重」が行われます。詳しいことは、本文をご覧ください。

10月2日、網膜脈絡膜フォーラムが伊勢市の観光文化会館で行われます。これにもご参加をよろしくをお願いします。これは網膜色素変性症の最近の治療法などについての著名な先生方によるお話しと質疑です。

皆さん、上記のことを予定帳に記載してください。

目 次

平成27年度R P 三重新春交流会のご案内	3
「世界網膜の日イン三重」の開催のお知らせ	5
「世界網膜の日イン三重」プログラム	5
楽しかった志摩での新春交流会	6
【新春交流会でのQ&A報告】	7
「世界網膜の日イン群馬」への旅	8
平成27年度J R P S 東海地区リーダー研修会報告	11
みなさん楽しんでいただけましたか	14
古稀を元気に楽しむ！！ ゴルフと卓球	15
しっかり聞こえていますか？	15
第15回全国障害者スポーツ大会 紀の国わかやま大会に参加して	16
まぼろしの実に会いました	18
岐阜城に行って	18
みなさんにお世話になった秋の運動会でした	19
さだまさしさんの歌とトークの世界	20
志摩旅行に参加して	21
県の身体障害者連合会に参加して楽しんでいます	21
第20回R P 三重総会議案書	23

平成27年度R P三重新春交流会のご案内

本件については、下記のとおり開催しますので是非ご参加ください。よろしくお願いいたします。

記

1. 開催日：平成28年1月24日（日曜日）
 2. 開催場所：奥伊勢フォレストピア
所在地：多気郡大台町菌993番地
電話：0120-017137（オイナイミナ）
 3. 会費：4,500円
 4. 申し込み期限：1月9日（土曜日）
 5. 申し込み先と内容：
各地区担当者まで、参加者名と人数、集合場所、温泉利用希望の有無をお知らせください。
盲導犬同伴の方、食物アレルギーがある方は、その旨お知らせください。
 6. 集合場所および時刻：
松阪駅近鉄側（北側）改札口を出た所 午前9時30分集合。
または、直接会場へお越しの場合、午前10時30分までに集合。
（ご要望があれば、送迎バスは10時20分頃にJR三瀬谷駅にも寄っていただけますのでお申し出ください。）
 7. 日程と主な内容：
9時30分 松阪駅近鉄側（北側）改札口付近 送迎バスに乗車、点呼、出発。
10時45分 開会
10時50分 健康体力づくり教室「チェアエクササイズ」
講師：山本真奈美さん（チェアエクササイズインストラクター）
椅子に座り、歌に合わせて身体を動かします。
楽しくて簡単な体操をします。
12時00分 温泉に入浴または周辺散策やお買い物。
12時45分 昼食・懇親会
14時45分 閉会
送迎バスにて松阪駅に向かう
 8. 当日の緊急連絡先：090-7696-7499（河原会長携帯）
- ◎ 地区担当者と連絡先は下記のとおりです。（一部移動あり）
- 県北部の女性会員 伊藤和子 059-379-0071 kazuito@mecha.ne.jp
- 県北部の男性会員 佐藤好幸 0594-31-4041 yoshiyuki5110911@yahoo.co.jp
- 津地区 加藤 多 0598-23-2954 masakato@topaz.ocn.ne.jp
- 伊賀・名張・亀山地区 桜井将人 090-3389-5598 mogu_dream@ybb.ne.jp

松阪・紀勢地区 辻本和仁 090-6765-5739

motchpino.5960.virgo9-pisces2@docomo.ne.jp

伊勢・度会・多気地区 木村靖子 0596-52-0811 tenderkimu@gmail.com

志摩・鳥羽地区 小川正次 0599-43-2523 sanryoin@poplar.ocn.ne.jp

◎ 詳しいことのお問い合わせ先 小川正次副会長

◎ 松阪駅集合に便利な電車の時刻については、以下の通りです。

◇ 名古屋方面からの電車

近鉄名古屋発 松阪行き 急行

① 名古屋発 7時41分 桑名発 8時03分 四日市発 8時16分
白子発 8時38分 津発 8時50分 伊勢中川発 9時02分 松阪着 9時10分

② 名古屋発 8時01分 桑名発 8時22分 四日市発 8時35分
白子発 8時54分 津発 9時06分 伊勢中川発 9時20分 松阪着 9時26分

◇ 名張方面からの電車

大阪上本町発 五十鈴川行き 急行

名張発 8時25分 伊賀神戸発 8時35分 榊原温泉口発 8時55分
伊勢中川発 9時04分 松阪着 9時13分

◇ 志摩・鳥羽方面からの電車

鳥羽行き 普通

鵜方発 7時41分 志摩磯部発 7時49分 鳥羽着 8時16分 (のりかえ)

鳥羽発 大阪上本町行き 急行

鳥羽発 8時23分 伊勢市発 8時40分 松阪着 8時54分

◇ その他、特急電車やJR線などご利用の場合は、各自お問い合わせください。

「世界網膜の日イン三重」開催のお知らせ

会員の出席者担当 桜井 将人

みなさんこんにちは

平成28年9月24日（土曜日）、25日（日曜日）に、三重の鳥羽市で「世界網膜の日イン三重」が開催されます。

1年前から「世界網膜の日」の会合が、平成28年に三重での開催が決まり、RP三重の役員で実行委員会を立ち上げ、ちやくちやくと準備が進んでおります。

そこで鳥羽市で開催することになりました。

会員の皆様が、参加してよかったと思えるように、盛り沢山の企画を立てさせていただきました。普段めったにない全国規模の会合であります。

是非一人でも多くの会員さんに周知し、9月24日、25日は予定を空けてご出席いただきますことが私の使命ですので、ご協力の程よろしくお願い致します。

多数の方が、ご参加いただければ嬉しい限りです。お待ち致しております。

「世界網膜の日イン三重」プログラム

事務局 小川 正次

1. 主催者

日本網膜色素変性症協会三重支部 「世界網膜の日イン三重」実行委員会

2. 開催日

平成28年9月24日（土）～25日（日）

3. 開催場所

（1日目） 鳥羽市民文化会館

〒517-0011 鳥羽市鳥羽三丁目8番3号

TEL 0599-25-1220

（2日目） 伊勢神宮内宮

4. 参加予定者 約500人 宿泊予定者 300人

5. 日程

● 1日目

平成28年9月24日（鳥羽市民文化会館による大会）

12時～ 受付

13時～ アトラクション（鳥羽水軍太鼓・伊勢音頭保存会による歌と踊り）

- 14時～ 開式・第20回研究助成授与式&受賞者研究発表
- 16時～ 記念講演「iPS細胞を用いた網膜再生医療の可能性」
(講師： 万代道子先生 神戸理化学研究所)
- 17時15分～ 次年度開催支部への引継ぎ
- 17時30分 閉会
- 17時～18時 宿舎（鳥羽シーサイドホテル）へ移動（シャトルバスにて）
- 19時～21時 懇親会（ゲストショー）
- 21時 鳥羽シーサイドホテルでの懇親会終了

● 2日目（希望者）

平成28年9月25日（伊勢神宮方面 ～伊勢神宮の歴史を尋ねて～）

- 9時～12時 伊勢神宮の歴史についての講話と参拝
- 12時～13時 昼食
- 14時 近鉄宇治山田駅及びJR伊勢市駅にて解散

楽しかった志摩での新春交流会

佐藤 好幸

1月25日（日）と26日（月）に一泊2日の新春交流会が志摩市大王町のリゾートホテルともやまで開催されました。参加者は全部で29名でした。

わたしは送迎のバスに津駅西を午後1時前に乗車しました。

午後4時ごろから河原会長のあいさつのあと、小川さんの司会のもと、新春交流会の開始です。

近況報告の自己紹介のあと、それぞれの抱える問題について、こうしたらなどのいろいろのアドバイスが出され、笑い声の絶えない全員参加の楽しい充実した研修会でした。

終了後、6時から夕食と交流会です。加藤さんの司会で、習っている三線の先生を迎えてのお二人の演奏と漫談を皮切りに、肥留間さんのソフトな司会により、志摩の仲間のピヨピヨ会のすばらしい民謡を披露していただきました。そのあと、詩吟やカラオケも披露していただき、お風呂に入ってから2次会で、解散は12時頃でした。

翌朝はバイキングの朝食でした。そのあとはホテルのバスで、波切のひもの屋さんや、越賀の浜から太平洋を眺めたり、大山広苑を訪ねたり、有意義なひとときを過ごしたようです。

役員会が同時開催で、終了後は一緒に幕の内弁当の昼食でした。

昼食後は、ホテルさし回しの観光船で賢島までの小1時間のクルージングでした。絶妙の観光案内で、すばらしい景色が目にかぶようでした。

島々の緑と青々とした海が日の光に映え、まさに阿児松島ともいえるすばらしい眺めの船旅だった、との妻の話でした。

賢島埠頭でバスに乗りいよいよ帰宅です。楽しみのへんば餅は定休日、かわりにかまぼこの老舗に寄りお買い物をして、松阪駅さらに津駅まで送ってもらいました。

帰っての夕食は娘たちも立ち寄ってくれ、お土産のかまぼこも加わり、楽しかった新春交流会の思い出話に花が咲きました。

【新春交流会でのQ&A報告】

総務 加藤 多

去る1月25日に催された新春交流会での、悩みや意見の交換をまとめました。

(提案) 最近制定された障がい者差別解消法にともない、バリアフリーにすべき所が必要なことから、皆さんに自分たちの周囲で困ったこと（バリア）がないかを話し合いたしましょう。

1. 会社勤めをしていると、周りの人へRPの理解がなかなか伝わらない。
部分的にしか見えていないのに理解されず、健常者と同じような扱いを受けることがあり、仕事を失敗できないという悩みがある。
2. ヘルパーさんから、一人ひとりの見え方が異なるので、どの程度見えるのか、視野狭窄はどれくらいの範囲なのかを、ヘルパーに事前に教えてほしい。
3. 会員から、家の中の段差は覚えているので大丈夫だけど、外出するとどこに段差や通行禁止棒があるのかが見つけにくく、よくぶつかってしまう。歩道の段差や神社の階段など危ない場所がまだまだ多い。
4. 会員から、ホテルなどの施設内であっても段差が多い所があり、スロープやエレベーターの設置していない宿も結構多い。

(回答) 宿泊する前に、電話などで事前確認をする必要があるでしょう。どこでバリアフリー化対策がされているかは、ホテル側に聞いてみればいい。ホテル側の姿勢が問われる。

5. 障がい者（車いす）の対応がとられていないホテルもあったが、抗議により改良された所もある。できるだけ声に出して言わないといつまでも改善されない。
6. 仕事のある方から、会社内で衝突することもあったが、改善されつつあるが完全なもの望めない。

(回答) 三重県でも会社でのトラブル等を相談できる障がい者職業相談センターがあるので利用する。

7. 会員さんから、一人で外出する時には必ず白杖を持って出かけるように心がけているが、それに気づいてくれない人も結構いる。携帯電話をいじりながら歩いている人や、無謀な中高生などに多い。何か視覚障害であることがはっきり認識できる帽子やたすきなど、公に考えてもらいたい。
8. 雨の日などは、傘などで障害物を認識するのに便利である。
9. 視野狭窄だけなので白杖を持って出かけないが、交差点では誰かいないと一人で渡ることに恐怖感がある。

(回答) 法律的には視覚障がい者は白杖を持って外出しなければならないとありますが、弱視であっても白杖は自分の身を守るために持って行ってください。

10. 弱視なので、スーパーなど買物をするときに、商品の値段が読めない、成分表示が分からない、陳列場所が分からないが、その時店員もつかまらないことが多く不便さを感じる。

(回答) 文字拡大鏡を持ち歩くことが必要（拡大メガネ3,500円くらい）、虫眼鏡（ルーペ）でもよい。スマホの中には拡大鏡のアプリもあり利用できる。

11. 同行援護のシステムが明和町にはない。家族がいると同行援護が認定されないなど困る。

(回答) 最近になって明和町に介護センターが創設された。

12. お金の選別が出来ない。1万円札や千円札が分からない。

(回答) 5千円札は半分に折るなど工夫して選別しているが、コインなどは選別式財布がある。

現在発行されている紙幣は、縦の長さ是一緒であるが、横幅が千円→5千円→1万円の順に約5mmずつ長くなっている。また、左右の下に視覚障がい者用識別マークが印刷されている。

千円札は約1cm程度の横棒、1万円札には縦12mm程度、横7mm程度のカギが、また5千円札には5mm程度の8角形が印刷されている。いずれも新札のときには、触ると少し盛り上がっているのが分かる。

13. 講演会などで、小学生に対しても白杖の意味を教えてください。

14. 介護さんからの発言。「ガイドとして参加させてもらっているが、食事費用など会員さんの負担も大きいので、宴会などでは同じ食事を出してもらわなくてもかまわないのではないかと思います。申し訳ない限りです」

(回答) このような宿泊を伴うイベントでも、介護として来ていただいているのでありがたいことです。とても助かっています。

15. 会員さんから。トイレトペーパーの端は少し出しておいてください。目の不自由なものにとってはたいへん役立ちます。

たくさんのご意見をありがとうございました

「世界網膜の日イン群馬」への旅

小川 正次

9月26日5時48分の近鉄線に乗り松阪へ向かった。途中で三交バスの室田さんに宇治山田駅から合流してもらった。

松阪からはJRを使っての旅となる。

ここで役員の河原会長と加藤総務の2名と合流して4名の旅立ちだ。

快速みえで名古屋に出て、13分の乗り換え時間で新幹線のぞみに乗るわけである。

この乗り換え時間は少し厳しいのではなかろうか。と思ったのであるが、ホームは新幹線の改札口を通らなければ行けないのではあるが、室田さんに連なって3人は電車ごっこで1列になって前進した。

意外にスムーズに乗り換えることができ、ホームで味噌カツ弁当とお茶を買い込んでの乗車だ。そして東京での乗り換え時間が9分で北陸新幹線に乗り換えるのである。

これはガイドをしてもらっている室田さんも自信がない、とのことから、のぞみの車内で乗務員さんにこの乗り換えに引率をお願いしたい、と東京駅に問い合わせてもらった。

二人は無理だが、一人だけは引率をしましょう、ということで、4人は安心してビールを片手

につまみを食べながら旅行気分だ。

東京へ着き、駅員さんの誘導で4人はスムーズに「はくたか」に乗り込むことができた。

金沢行 10 時 52 分に乗り込んで、高崎まで 52 分間の運行時間だ。

その車内で、名古屋で買い込んだ名古屋名物味噌カツ弁当を食べた。美味しかったなあ。

高崎では JRPS 群馬からの声かけがあり、乗務員さんもボランティアの人たちも、乗り換えなどのお手伝いをしてもらっていた。

両毛線に乗り換え、12 時 22 分着で前橋に着いた。

自分たちが最後の迎えであつたらしく、出迎えていてもらった人たちも前橋駅から 400 メートルほど離れた会場へ向かったのであつた。

会場は前橋文化会館である。

11 時からアトラクションもあつたが、これは時間的に無理だったので、式典の 13 時に焦点を合わせての出席となった。

13 時から、第 19 回研究助成授与式があり、次の人たちが受賞され、研究発表を受けられました。

【1 位】西口 康二 [にしぐち こうじ] 先生 (東北大学大学院 医学系研究科) 「遺伝子治療による錐体系視覚再建と可塑性の解析」

【2 位】五十嵐 勉 [いがらし つとむ] 先生 (日本医科大学 眼科学教室) 「硝子体投与アプローチからの網膜色素変性の遺伝子治療」

【もうまく基金賞】池田 華子 [いけだ はなこ] 先生 (京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター 網膜神経保護治療プロジェクト) 「網膜色素変性に対する新しい神経保護の開発」

15 時から講演として、視覚障がい者の落語 桂福点さん；テーマ「出会いは心の光 (私が視力を失ってから得たもの)」として面白おかしく聞かせていただきました。

同じ視覚障がい者として苦勞しながら、落語会での活躍をされる桂福点さんを一段と身近な咄家としてインプットされました。

大阪の芸大を卒業されているだけあって、テノールの独唱と縦笛の演奏は絶品でした。また機会があれば聞かせてもらいたいです。

落語の一タイトルを最後にされたのですが、私たちは音声を聞き、入力によってメールをしているのですが、この漢字変換ミス of the 誤りをネタとして、スクリーンにその誤字を映し出し、パソコンの合成音にてのメール交換の模様を一つのストーリーにされ、自分たちでもたくさんある誤字などについて爆笑してしまいました。

16 時から次年度開催地への引継ぎということで三重県です。

そこで我らの河原会長が、厚く来年の開催に一人でも多くの参加を呼びかけてくれました。

伊香保温泉に 1 時間ほどかけて移動となり、18 時過ぎに旅館に着いた。私たちは三重からの 4 人組で 4 1 5 号に宿泊となった。

ガイドの室田さんは三重交通の添乗員をしている人であるが、視覚障がい者の添乗は初めてだとのことであつた。しかし、ガイドはすごく慣れている感じに受け、気配りのできる人であつた。自分もとても楽であつた。

しかし、風呂だけは自信がないので一寸どうしようかなあ、と言ってためらわれていた。

だが、18 時を回るとお客さんもほとんど宴会に入る時間帯なので、ほとんど入浴される人も

なく静かだったので、お風呂の中まできっちりとガイドをしてもらえたのであった。

宴会は三重県3名と北海道4名がワンテーブルであった。

河原会長は本部の副理事長なので本部役員との同席だ。

90名あまりの出席であり、一人ずつ声を聞かせてもらうことが出来た。

面識のある人はその中の20名ほどあっただろうか。

何人かのメーリングリストの人たちが声をかけて下さり、とても嬉しく感じた。

来年の担当地区ということで、一人でもこの伊勢神宮のお膝元へ来ていただきたいとPR活動をさせてもらって、何人かの人たちに確約を結んできたのだった。

民踊や演歌などを聞かせてもらって、21時過ぎにお開きとなった。

部屋に戻り、来年にかけての問題点をいろいろと洗い出して話し合った。

どこへも行かずにおとなしく、暫く話して11時過ぎには就寝したであろうか。

旅に出てこれほど早く寝たことは過去になかったのでは、と思えるのだ。

私は、3人枕を並べた真ん中で、両サイドの人は鼾が大きいのでご免なさい、と言ったの就寝である。

また、もう一人は頭あわせに布団が敷いてあり、その人は歯ぎしりをよくするので、と前置きを言って即寝てしまった。

しかし、それ程の鼾でもなく、歯ぎしりの音は時々聞こえてきた、と言っても、自分も寝ていたから一晩の流れはどのようになっていたのかは定かではない。鼾の合唱をしていたかもね。

9月27日

さあ朝だ。5時半頃には4人とも起き上がり、朝風呂にまたまた室田さんをお願いして、つかただけでいいので連れて行ってもらった。

7時から朝食なので、昨夜の懇親会場の同じテーブルに用意された食事をいただいた。

その後、売店で土産を買い込み、部屋に戻り、その荷物をリュックサックに詰め込んで、9時にオプションツアーに出発だ。

富岡製糸場に観光バスにて1時間ほど移動した。世界遺産に指定されただけあって、新しいお店や施設も増設されたみたいだ。

赤煉瓦造りの横幅120メートルもある建物で、煉瓦の積み方はイギリス式と言われたと思う。フランス式とは違った組み方になっている独特の建物らしい。

詳しくは解っているが、文字に表すのは難しいので想像に任せます。

特別に手で触れられたのは、繭と桑の葉っぱであったが、その桑の葉っぱに蚕さんがくらいついているじゃないですか。

私は動く虫類は全くと言ってつかめない弱虫です。それが蚕さんに触れてしまって思わず手を引っ込めてしまったのだった。情けない私です。

製糸場に入っただけの説明ではあったが、機織り機も両側に150台、両面で300台使っていた物がそのまま作業場として保存されているとのことであるが、残念ながらその機械は触らせてもらうことはできなかった。

この製糸場では沢山の女工さんが働かれていて、真ん中は広くあいていて、そこでは走ったりはねたりはしませんでした、との案内の後、製糸場なので皆静止していて、製糸場なので静かにしていました。とのだじゃれが入った。

解ってもらえたかな。バスに乗り込むまでにお店が両脇に並んでいて、繭の名前がついたお

土産がたくさんあった。私は「桑繭最中」と「繭石けん」と「かりんとうまんじゅう」を買った。石けんは妻の土産で、かりんとうまんじゅうは名物だということで食べて見たかったのだ。

最中は孫の幹太が好きなので買ったのだ。

そうそう、書き忘れていたが、ここの駐車場で富岡東高校のJRCのボランティアクラブの生徒さんが30名ほど手引きに来てくれていて、私は井川みさちゃんという150センチ弱ほどの可愛い女子高校生の2年生が、エスコートしてくれた。

これに当たり、実習もしてからここに望んでくれたとのことである。ほとんどが女子生徒であった。

皆ガイドを受けている人たちは満足げであった。

自分は室田さんという立派なガイドさんを従えての参加であるが、ここでは室田さんは添乗員なので皆を見守る、という立場に立って行動してもらったのだった。

その後、高崎のダルマ屋さんに寄った。

ここはたくさんの種類のダルマさんが置いてあって、ここでもあまり荷物になっては持つて行くのが大変なので、小さいダルマを4個、何かいいことがありますようにと買い込んできた。

帰りのダイヤも乗り換え時間がぎりぎり設定してあったのであるが、高崎駅へは解散時間に予定していた時間より早く着いたので、高崎を30分早くと、東京で30分早くのダイヤに変更してもらって、無事に東京駅で穴子しぐれ弁当を買い込み、のぞみで食べながら何の不安もなく帰ってこられた。

我が家に到着したのは22時50分頃だった。

来年は我が三重県で開催予定です。少しでも群馬大会の様子を研究して、来年の大会に臨もうと実行委員全員は心づもりをして取り掛かっているところです。

平成27年度JRPS 東海地区リーダー研修会報告

総務 加藤 多

期 日： 2015年10月17日（土曜日）14時～18日（日曜日）11時30分

場 所： （1日目）富山市サンシップとやま、（2日目）富山市サンフォルテ

宿 泊： とやま自遊館

参加費： 13,000円

参加者： 三重県は河原、小川、佐藤、加藤、

本部からは吉田事務局長、高木編集長、他網膜協会

◆ 第1日目 14時30分から16時30分まで

研修講演会

テーマ 「障害者福祉の現状と課題について」

講 師 南砺市民病院地域医療科主査 竹内嘉伸先生

講演内容

◎ 平成27年7月1日より難病指定の項目が既存の110疾病から306疾病に拡大。

この指定は難病医療費助成制度の大幅な改革であり法制化されたものとなりました。

- ◎ 新しい法律では、決められた予算枠に難病医療費を割り当てることで、その枠をはみ出した分は県や市町村にまわされ、患者の自己負担となって徴収される。
- ◎ 介護保険との連携 介護認定に必要な申請が介護程度により、また各市町村の状態により格差が生まれる。自分でかろうじてできる家事生活であれば支援は必要ないと判定される。
- ◎ 指定難病の医療費の自己負担分が、指定難病の特性に配慮し、外来・入院の区別を設定しないで、世帯の所得に応じた医療費の自己負担上限額（月額）が設定される。
- ◎ 自己負担上限額は、受診した複数の医療機関などの自己負担を、すべて合算した上で適用される。

例えば 一般の場合

生活保護世帯		0 円
低所得 1 非課税世帯本人収入	80 万円まで	2,500 円
低所得 2 非課税世帯本人収入	80 万円を超える	5,000 円
一般所得 課税	7.1 万円未満	10,000 円
一般所得 課税	7.1 万円から 25.1 万円まで	20,000 円
一般所得 課税	25.1 万円以上	30,000 円

※ 高額医療継続者及び人口呼吸器の方は別枠

※ 既認定の経過措置は 3 年間

- ◎ 難病医療費助成の申請についての変更点
 - ① 難病の診断書は、難病指定医の資格を持った医師のみ認められる。その他不可
 - ② 公的医療保険の被保険者証のコピーに加え、市町村民税の課税状況の確認書類
 - ③ 世帯全員の住民票の写し
- ※ 重症指定患者に対しての書類も必要
- ◎ 総合支援法により、身体障害者手帳を持っていなくても、必要と認められた支援を受けることができるようになったこと。
- ◎ 介護保険との関係

介護認定に関する審査、入浴・食事・排泄に関しての不自由度が必要だが、今後総合支援法の難病申請と重なることとなる。
- ◎ 指定難病の申請はぜひ行うべきである。医療費助成制度に変更が加えられることが予想されるので 3 年間。
- ◎ 入院等の食費に関しては、預貯金の金額を申請しなければいけない。国が行うマイナンバー制度の導入で、国や県は個人の預貯金や資産を調べることが出来るため、申請時 3 か月前の預貯金のコピー提出が必要となる。つまり、世帯全員の資産を収入として合算され計算される。

◆ 第 2 日目 9 時から 11 時 30 分まで

研修会 JRPS の現状と課題「私たちが目指すべきものは？」

講師 JRPS 副会長 河原 洋紀

講義内容

2015 年度に JRPS 本部において、決定されたこと

第 1 次中長期計画を終え、第 2 次中長期計画へと進めていく

・治療法の研究推進

- ・QOL 向上
- ・会員数の拡大 5000 名目標
- ・日本網膜協会（RJ）への移行を検討
- ・国際網膜大会（RI）を日本で開催する

※ 詳細は広報誌 RP116 号に記載

今回、日本網膜色素変性症協会各都道府県支部が各都道府県網膜色素変性症協会に改名されたこと。これは JRPS の一般社団法人から公益社団法人へと移行する目的で申請しました。そこで、組織としてあるべき姿を改めて確認してみる

組織の定義

- ① 共通の目標設定 治療法の確立と QOL の向上など
- ② 階層構造 組織には階段的構造を成す 階層権限が設けられている
- ③ 暗黙知 目に見えない決まり事がある
- ④ 組織成長 組織外へのアピールや会員の活動が必要

組織を組み立てていくためには、具体的な明確な目標を持つこと（今年度会員増を 300 名とする）、

利他的精神で行うこと（犠牲的精神を持って他人を生かす）、
相互性を踏ること（相互の情報交換）
が大切なポイントとなる。

患者会の運営はメンバーの加入と離脱の繰り返しであるから、メンバーの所属意識と会の凝集性をいかに高める工夫が必要である。そして会の運営に対する評価が重要である。

楽しい患者会とは、会議ばかりでなく、会議以外のコミュニケーションのある活動が行われることにある。そしてその行事運営のためには、会の代表者がフラットに考えることに加え、その財源を確保しなければならない。

<その他 意見交流>

◎ JRPS 未加入の都道府県に対する本部の対応について

7つの未組織県（青森、石川、山梨、山口、佐賀、宮崎、熊本）があるが、会員はいても代議員が出ていないため未加入とされている。東海・北陸地区では石川県4名がいて次回福井研修会で参加を要請している。

◎ 会員増目標に関して

- ・ 未加入患者会員の増加を望むより、支援会員や賛助会員・学会会員を増加することで努力する方がいいのではないか
- ・ 年々高齢化や未活動新人の減少の傾向がある。会員のメリットとは何かを広報すべきである。現在4000名の会員の協力が必要
- ・ もうまく基金の会費と JRPS 会費が混同している会員が多い。徹底した情報連絡網がはっきりすれば誤認が少なくなる
- ・ 各県の視覚障害者協会との連携はあまりないのが現状

◎ 広報誌 RP 編集局からのお願い

愛媛支部が会員100名を突破、参加しやすいイベントの工夫、連絡網の徹底が生んだ結果。118号からリニューアル。知る・伝える・参加するために会報誌の利活用をお願いしたい。ユニバーサルフォント化された新年度カレンダー販売

みなさん楽しんでいただけましたか

佐藤 道夫

みなさーーーーーん、先日の交流会は楽しんでいただけましたか。

あいにくの雨で申し訳なかったです。

佐藤親代さんのパートナーを努めさせていただいている、「みっちい」こと、「かめへん仙人」です。

2か月ほど前にお話しをいただいて計画を立てたのですが、雨が降ることをすっかり忘れていました。

慌てて手配をしたのですが、文化祭など催しが多くあせりました。

初めての試みで、お寺で昼食と交流会をさせていただきました。

お寺さんとは、正次さんに交渉してもらいました。ここ一番は頼りになる頼もしい人です。今まで縁の下の力持ちは経験しましたが、表に出ていろんな交渉ごとをさせていただき勉強になりました。

何歳になっても新しいものに挑戦が出来ることを嬉しく思います。

まだまだ頑張ります、これからもよろしくお願いします。

「かめへん仙人」の名前の由来は次号につづきます、お楽しみにね。



古稀を元気に楽しむ！！ ゴルフと卓球

伊藤 和子

時々、古稀の思いを感じながら・・・、一年が過ぎてしまいそう！
一年を振り返ってみると、若いときは思ってもいなかったこと！
こんなに他県に出歩く元気ばあちゃん！になるとは・・・
3月から11月まで7県。兵庫県神戸から宮城県仙台まで行って来ました。
今月3日には、地元の津カントリーにて、第21回チャレンジドゴルフトーナメント厚生労働大臣杯全国身体障害者ゴルフ大会が開催されました。
全国から100人ほどの選手が参加されました、
私は視覚障害・弱視の部門で、岐阜県の男性方と同じ組でプレー。
終わってみれば、アウト59、イン53＝112で、2位。今年のシメとしては、満足！
80歳代の方も数名参加しておられ、私もまず80歳を目標に健康に気をつけたいと思います。

しっかり聞こえていますか？

志摩 小川 明美

みなさんには、みなさんご自身の5感が正常に働いてると実感がありますか？
見る（目）、聞く（耳）、臭い（鼻）、味わう（口）、触れる（手足や全身の皮膚）などがあり、また痛覚もありますが、それらが正常に感じられてると思っておられるでしょうか？人によってそれぞれその感じ方が異なると思います。この他に内臓からの情報や外界からいろんな情報を受け取りながら生きてる私たちです。それらのどれ一つにでも異常・違和感があれば自分は健康じゃないのじゃないかと疑い、通院される人が多いことと思います。
私は今年の春5月に補聴器を利用することを希望し、自宅から遠い耳鼻科の先生のところで補聴器センターの人を紹介してもらい、補聴器をゲットしました。近くの耳鼻科の先生は「まだ早い！」と言い、私が聞こえにくくて困っていることを理解してくれませんでした。それは、私がしっかり説明してなかったからかも知れません。聴力検査では一般の人の中では最低な聴力しかないけれど、今この時に、補聴器を購入しても使わなくなってしまうだろうということでした。
何年前からだったのかよく覚えていませんが、「えっ？ ええっ？」と聞き直すことが多くなっていました。静かなところで面と向かってお話ししていると聞こえる・理解できるのに、大勢の中・広いところ・ざわついてるようなところでの会話が聞き取れなくなっていました。自分のことなのに聞こえていないということが分かっていない私でした。「えっ？」と一度・二度までならば聞き直しても、3度目となると聞き直すのも失礼なのじゃないかとためらうこともあり、自分自身も「まあいいや！」といいかげんな返事をしてしまったり、分からぬままにあいまいな、とんちんかんな返事をしてしまうことがあったり、相手の人に気分の悪くなるような返事をしてきたこともあったのじゃないかと気になってきました。そんなこんなで、相手の人は私に理解してもらった・聞いてもらったと思っても私には理解できてなかったことがあり、トラブルの原因

になっていたこともありました。

私は20年ぐらい前から文字を見るということも、景色や周りの様子をうかがい見ることができなくなっていました。最近では音声で利用できるようになった携帯電話やパソコン、時計や体温計・血圧計・体重計・音声秤などをはじめ、色を教えてくれるカラートークなど、便利な道具や器具のあること、それらの利用法を教えてもらえるようになりました。また見えなくても自由に本を選んで聞くことのできるサピエ図書館や、音声ガイド付きの上映会、テレビにも音声ガイドの付いた番組も増えてきました。見えなくても同行援護により自由に出歩くことも、いろんな制度や施策もある程度分かるようになってきました。

なのに、なのに・・・今度は聴力の衰えでお話しを聞き取ることができなかつたり、理解することができなくなってきました。見えない私にとっては音は大切なものです。そんな時、この補聴器利用を思いつきました。聴力障がい者としては、まだ序の口なのでしょうが、この聴力障がい者としての初心者にとっては便利な道具や器具・制度のことが全くといってよいほど分からないのです。

この補聴器もいろんな種類や形、値段の違いで聞きやすくなるのでしょうか？でも、いまこの時代の補聴器として最高の物を購入された人でも、やっぱり今までの聞こえ方とは異なると言い、利用しなくなってる人もあります。私が購入した物は、フォナックボレロ Q70 という物で、静かなところ・騒音下での言葉（雑音の中での会話）・騒音下での快適性（雑音を抑える）などの機能やボリューム調節のある物です。補聴器を使うと疲れが一段と強く感じるがありますが、これらも使い方をまちがえているのかも知れませんが、単に老化現象で体力が衰えてきただけなのかも知れないと考える今日この頃です。補聴器を利用しなくてもよいのなら、自分の耳でじかに聞くことができるのが一番だと思います。だけど、難聴者の人たちの中でも補聴器を利用しても、その話や外界の音が聞こえないという人にとっては、私はわがまま・贅沢なのでしょうね。

最近、この聞こえにくいということをサポートしてくれる「アシストホーン」という物があることを知りました。どんな物なのかが分かってませんが、これから一つひとつ聞こえにくいことをいくらかでも解消できるようなものを教えてもらったり、体験していきたいと思います。また、この難聴者に対してのいろんな制度や施策も習っていきたいと思っています。

第15回全国障害者スポーツ大会

紀の国わかやま大会に参加して

いなべ市 川瀬 清良

私の競技種目はS T T卓球です。

この大会の出場決定を県の事務局から知らされたとき、一度は断りました。

予選試合3位。それに私も少し高齢になっていますので、あまり行く気はしませんでした。それから、選手仲間に相談したところ「もう二度とこんなチャンスはないかもしれないから行きなさいよ」とアドバイスしていただきました。

それで私の腹も決まり、行くことに決めました。

それからというもの、大会の説明会やら強化練習やらで忙しくなりました。また、ユニホームやら身の回りのものの購入で体も財布も忙しくなりました。

いよいよ出発日。

10月22日12時30分 県庁集合。12時45分から結団壮行式があり、そのとき知事さんと私と監督さん3人で写真を撮っていただき、その後で私は知事さんに握手をしていただきました。

式の後で「がんばろう、がんばろう、がんばろう～」の勇気をつけてもらい、1時30分頃県庁を後に出発しました。

10月23日は公開練習日で、9時から10時30分まで4県の代表で練習をしました。が、「まずまずのできかな」と思いました。

10月24日午前中開会式です。皇太子殿下のあいさつ。それから役員の方々のあいさつがあり、地元出身の歌手坂本冬美のあいさつと国体のテーマ曲を1曲歌われ、後はいろいろアトラクションがあり、無事開会式を終えました。

当日、私の卓球の試合が4時20分から予定されていました。

第1戦目です。

私も前半少し反則がありましたが、それ以上に相手の方が反則をとられていましたので、結果、私の勝利となりました。3対1で勝ちました。相手は香川県代表でした。

10月25日は、私の第2戦目の卓球の試合です。10時20分予定になっていました。

相手は、さいたま市の方ですけど、前半かなり緊張してみえたような様子でミスが多く、私のペースになったような感じでした。

後半はかなり落ち着いてみえて、私も危ないところがありました。でも何とか勝利しました。結果は3対1です。この試合で金メダルが決まりました。嬉しかったです。

10月26日。午前中はまだ陸上の試合が残っていました。

閉会式は午後3時頃から始まりました。

皇族の方のあいさつは高円宮妃殿下でした。フィナーレのステージは堀内孝雄が6曲くらい歌って終わりました。

この大会で監督さんには大変お世話になりました。ホテルの食事は全食がバイキングですから、みな監督さんに運んでいただきました。

出発日、最後の日、バスへの荷物は監督さんにみな運んでいただきました。

また、大会中はみな介助していただきましたし、試合の時は監督としていろいろ指示していただきました。ありがとうございました。

2015年は私にとっていい年になりました。

まぼろしの実に会いました

木村 靖子

11月9日、雨上がりの夕方の船で鳥羽市答志島へ渡りました。
船を降りると車で移動。小高い所にある宿に到着。
私は風邪気味だったので入浴はしないで部屋で待っていました。
夕食は豪華な海の幸で、伊勢えびの焼いたのを丸ごと食べたのがおいしかったです。伊勢えびの刺身やアワビの刺身やサワラの刺身などおいしい物ばかりでした。
翌日は散歩に出かけました。小高いところにあるお宮さんにも連れて行ってもらいました。
その道で私が会いたいと70年も願っていた実に会えたのです。
「これ、なんの実だろう」と拾った実を私に見せたので、即座に「槇の実」と叫びました。
友人が見上げるとはるか高いところに槇の葉が見えたようです。その幹は二人でも回せないくらいの太さがありました。
5歳くらいのとき、おやつに槇の実を取って食べて以来の顔合わせでした。
それからグリーンフィールドと呼ばれている、太平洋の荒波がうち寄せる浜にいき、干物などを買って1時25分発の船で帰ったのでした。
歩数は9千歩くらいでした。

岐阜城に行つて

桜井 将人

この前、岐阜城に行ってきました。
岐阜城は、織田信長のお城です。信長は、岐阜の名にした理由は、古代中国で周王朝の文王が岐山によって天下を平定したのに因んで、城と町に名を「岐阜」にしたらしいです。
金華山の標高330メートルの山頂に聳える岐阜城天守閣、まさしく天空の城って感じで、織田信長と同じ目線で、みる景色は、天下人になった気分になり、以前から行きたかったお城でした。
実際行ってみて、JR岐阜駅の郊外に黄金の信長像があり、岐阜は信長の町なんですね。金華山は自力に登るのは大変なので、ロープウェイでのぼり、山頂付近から天守閣をめざしましたが、想像以上に傾斜があり、距離もかなりあり、お城に行くじゃなくて登山している感じでした。
それに、標高330メートルでも、かなり寒かったです。
そして無事天守閣に到着し、最上階でみた絶景は濃尾平野が広がり、景色もよく、見える方に聞いたところ、うっすら名古屋駅も見えたそうです。
信長もこんな感じで見えていたと思うと感動でした。

みなさんにお世話になった秋の運動会でした

佐藤 好幸

毎年体育館で開かれる秋の桑名市身体障害者の運動会は、楽しみに参加しています。

今年も電車、バスを乗りついで出かけました。

今年には道中思わぬハプニングにいろいろと出遭いました。

北勢線の西桑名駅に到着すると、「大丈夫ですか」と声をかけてくれた男性がいました。「ええ、何とか行けますから」と電車を降り、駅員さんに迎えられて改札口を出て、歩道の点字ブロックの上に立たせてもらいました。

しばらく歩くと、先ほどの男性らしい人が「駅前にお店が出ているようです。どこまで行かれますか。案内しましょうか」と、また声をかけてくれました。「それではお願いします。巡回バスの乗り場です」と答えて肩につかまらせてもらいました。

しばらく歩くと「あれっ、バス停のところはお店の準備をしていますよ」と言われるではありませんか。どうしたものかと思っていると、「今日は桑名フェスタで、駅前にはいろいろとお店が出るのでバス停は移動しています。案内しましょうか」と女性が声をかけてくれました。

男性にお礼を述べて、女性の案内で臨時バス停に連れて行ってもらいました。

「9時5分の寺町経由のバスは時刻表にありますか」とお聞きすると、「ええ、あります」と応えていただき、ここで間違いないと安心し、バスを待つことにしました。

「係り員ですか」とお伺いすると「出店の小林薬局の者です」とのことでした。

9時10分と定刻を過ぎてもバスが来ません。これはおかしいと手を挙げて、「お願いします。すいません」と何度も大声を上げていると、「どうしたのですか」と女性が声をかけてくれました。

こうこうしかじかと経過をお話しすると、「バスの運転士さんに言ってきてあげる」と呼びに行ってくれました。しばらくすると「どうされたのですか」と男性が聞いてくれました。しかじかといきさつをお話しすると、「相談してみます」と言って離れていかれました。なかなか帰ってきてくれません。

開始時刻が近づいてきます。午前中、出かけると言っていた妻に電話をかけてみます。まだ家におり、迎えにきてくれるとのことで、これでひと安心です。

しばらくすると、男性の声で「三重交通の者ですが」と言われるので、かくかくと経過を説明しました。そうすると、「今日、明日は桑名フェスタで、運休になることはバス停やバス内にも掲示してあったのですがね」とのお話しです。

「白杖を持って昨日も乗るなど度々利用しているのに、運転士さんからは何の連絡もなかった」と応えると、「それでは会社の車で利用のバス停まで送って行きます」とのことです。

「妻に迎えを頼んだので電話をしてみます。少し待ってください」と言って、妻に電話をかけると家を出て1キロくらいのところだとのことでした。

経過を説明し、引き返してもらうことにしました。

三重交通の車に乗せてもらいました。「どこまで行かれるのですか」とのことに、「メディアライブ前で降りて体育館まで行きます」と答えると、「体育館までお送りしましょう」とのことで、停車の場所を説明しますがうまく通じません。目が見えないいつもの場所で降りないと戸惑ってしまうと説明し、とにかくバス停で降ろしてもらうことにしました。

点字ブロックの上に立たせてもらい、「こちらの方角が体育館です」との声にやれやれと思っ

て点字ブロックに沿って歩き出しました。

しばらくすると、前に出していた傘が車にぶつかりました。同時にタイヤの下に杖がはさまると共に車が動き、手にしていた杖が地面にたたきつけられてしまいました。運転手さんが降りてきて、「大丈夫ですか」と言って杖を拾って手渡してくれました。

まず、杖を確かめてみましたが異常はないようです。やれやれと思い、「杖がはさまり折れるところでした。何もなかったのよかったですものの、これから歩道上は気を付けてください。」

「あ。よかった。よかった」とお互いに言いあって別れました。やっと体育館に到着できました。

今日はまさに「一難去ってまた一難」のスタートでした。しかし、開会式にも間に合い、視覚の仲間たちとも一緒に、ボランティアさんたちにお世話になり、パンくい競争などいろいろな競技にも参加し、参加賞ももらい、楽しく充実した一日となりました。

帰りはどうしたものかと心配しながら娘に電話をすると、迎えにきてくれるとのことでした。

いろいろな人にお世話になり、また助けてもらった私の秋の運動会の日も無事に終えることができました。

さだまさしさんの歌とトークの世界

度会町 辻本 和仁

私はもう 30 年来、シンガーソングライターのさだまさしさんのファンを続けています。昨年は9月初めに、神宮会館で行われた式年遷宮記念奉納コンサートに行き、その月末には三重県総合文化センター大ホールでのコンサートにも出かけ、一か月に二度もさださんの歌とトークを楽しみました。

それから一年たたずに、今年もまた三重県に来てくれたので、しっかり行ってきました。

最近では、NHK総合テレビで放送される「今夜も生でさだまさし」という番組も、ほぼ欠かさず楽しんでます。深夜に放送される番組なので、録画しておいたものを別の日のお昼に見ることが多いんですけどね。

さださんは、愛とか心とか命など、形のないものを曲の題材にされることが多いです。最近では、今の社会や時代に向けたメッセージ性の高い歌も手がけておられます。ずっと以前から、そういう世界に共感したり、教わったり、考えさせられたりすることが多かったというところが、私がずっとファンを続けてきた要因だと思います。

実は、愛知県支部の会員さんで、さだまさしファンという方と知り合いました。なので、三重支部の会員さんの中にもさだファンの方がおられましたら、いろいろとお話しをはずませたいなあなどと思っています。もちろん、みなさんそれぞれに、お好きなジャンルの音楽や、ご推奨のミュージシャンもおられることと思いますので、みなさんを無理やりさだまさしファンにしようと思っている訳ではありませんよ。

音楽という一つのジャンルでも、カラオケや合唱や楽器演奏など、自分たちで一緒にしたり、またそういうものを聴いて楽しむなど、みなさんがつながっていく手立てはたくさんありますよね。実は、「隠れさだファン」だったというあなた。今度私に、お知らせくださいませね。

志摩旅行に参加して

丸山 美代子

私は、7月15日、16日と、「なかよしこよし会」で催された志摩一泊の旅行に参加させていただきました。男性6人、女性10人の参加者でした。

15日は台風が近づいて、津を出るときから大丈夫かしらと心配していました。

旅館のバスに津駅、高茶屋、松阪、鶴方と次々に参加者が乗り込んできました。台風が近づいているのに、まぶしい太陽を避けて、バスの席を移る程の日差しで、志摩に着くまで雨は降りませんでした。

旅館に到着して、部屋割りを決めて、一休みしてから楽しい夕食になりました。

旅館の人の「皿おどり」を見せていただきました。

その後、カラオケではみなさんの上手な歌を聞かせていただきました。

翌日も雨は降らず、ガイドさんの説明を聞きながら船で湾内を回りました。船を降りて大王崎灯台へ行きました。

雨は降っていなくても台風が近づいているためか、海は真っ白な波でいっぱいでした。同行されていた近くの人も「これ程の波を見たことはない」と言われていました。そして、風に帽子を飛ばされないよう売店に預けて灯台に上りました。

旅館に戻り、昼食を食べて帰路に着きました。それでも、曇っていても雨は降らず、それぞれ乗った場所からバスを降りて家に帰りました。

津駅前降りた時も、まだ雨は降っていませんでした。家の前まで来たときに雨が降ってきました。

台風が接近している中でしたが、雨に遭わず、楽しい旅行ができてよかったです。

県の身体障害者連合会に参加して楽しんでいます

森田 ミヨ子

見えていたときには絶対に出会えない、出かけられなかったこと。それが今この年になって誘ってもらってスポーツにも、成績は全くだめだけど、でも仲間の人たちと最高に楽しい交流会に参加させてもらっています。

大紀町の障がい者の仲間の人たちと出かけるようになって、初めは視覚障がい者のことを全く理解されてない人たち、見えないことはどういうこと？どんな生活しているの？洗濯は？お風呂は？ご飯はだれが作ってくれるの？等々、見えないことは、何も出来ない人だと思われていた仲間の人たちに、何でも今までしていたこととか、家の中だと何でもできるのよと、見てしてないから工夫して、見えなくてもどうしたら出来るかと、考えながらやっていることを話しています。

初めは、恐る恐る見えないのが一番辛いね、と言われていたのだけど、今は見えてないことを忘れてしまうわ、と言われていました。

視覚障がい者の仲間の人とだけが一番理解され、一番幸せだと思っていた。

でも、今はいろんな障がい者の仲間の人たちに理解してもらえて、またまた世界が広がって、出かけるところもたくさん出来て、いつまでも健康で楽しい仲間の人たちに囲まれて、とても幸せを感じています。

第20回RP三重総会議案書

第1号議案. 平成26年度事業報告

- ① 平成26年度は、会員の交流を兼ねての花見を松阪市で行いました。
- ② QOLの事業を行い会員のスキルアップにつとめました。
- ③ 各種団体が行う交流会などに参加しました。
- ④ 地域で相談会を行いました。
- ⑤ 三重大学の倫理委員会に参加しました。
- ⑥ 国際フォーラム（東京）に参加をしました。
- ⑦ 新春交流会を第2回目として一泊で行いました。

日時	用件	場所	参加人数 (会員)	付き添い 等
4月1日	難病相談	難病相談センター	支部長	
4月5.6日	国際フォーラム	東京	25名	
4月7日	臨床倫理委員会	三重大学	支部長	1名
4月12日	カラオケ大会	県総合文化センター	28名	
4月30日	NPO 法人三重難病連理事会	難病相談センター	支部長	
4月30日	研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
5月2日	臨床倫理委員会	三重大学	支部長	1名
5月25日	JPA総会	東京	支部長	1名
5月26日	国会誓願行動	東京	支部長	1名
5月28日	NPO 法人三重難病連理事会	難病相談センター	支部長	
6月1日	地域相談会	四日市市	支部長	
6月3日	NPO 法人三重難病連総会	難病相談センター	支部長	
6月6日	臨床倫理委員会	三重大学	支部長	1名
6月12日	研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
6月15日	定期総会	福祉会館	62名	
6月20日	中日新聞よりの授与式	津	2名	2名
6月21日	JRPSの総会	東京	2名	
6月22日	JRPSの設立20周年式典	東京	2名	
7月1日	臨床倫理委員会	三重大学	支部長	1名
7月3日	研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
7月12日	JRPSの運営会議	東京	支部長	
7月13日	地域相談会	桑名市	支部長	
8月1日	臨床倫理委員会	三重大学	支部長	1名
8月4日	自民党との懇談会	自民党県本部	支部長	
8月5日	難病相談	難病相談センター	支部長	
8月26日	研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
9月2日	臨床倫理委員会	三重大学	支部長	1名
9月14日	日常生活用具の使い方講習会	本町公会堂	14名	

9月14日	歩行訓練	産業振興センター周辺	3名	
9月14日	役員会	本町公会堂	7名	4名
9月20日	東海北陸バリアフリー市民大会	津	支部長	1名
9月20..21日	世界網膜の日イン神戸	神戸市	15名	
9月21日	地域相談会	伊勢市	支部長	
9月22日	研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
10月7日	難病相談	難病相談センター	支部長	
10月10日	臨床倫理委員会	三重大学	支部長	1名
10月11.12日	東海ブロック会議	犬山市	支部長	
10月18.19日	東海北陸リーダー研修会	羽島市	6名	
10月26日	地域相談会	伊賀市	支部長	
11月7日	臨床倫理委員会	三重大学	支部長	1名
11月9日	秋の交流会	鈴鹿市	20名	
11月11日	研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
11月28日	厚労省との意見交換会	視覚障害者支援センター	支部長	
11月30日	地域相談会	熊野市	支部長	
12月2日	難病相談	難病相談センター	支部長	
12月11日	臨床倫理委員会	三重大学	支部長	1名
12月14日	JRPSの各委員長会議	東京	支部長	
12月18日	相談員研修会	難病相談センター	支部長	
12月25日	研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
1月8日	世界網膜の日の依頼など	鳥羽市、伊勢市	2名	2名
1月8日	臨床倫理委員会	三重大学	支部長	1名
1月11日	JRPSの聞き取り会	東京	支部長	
1月18日	JRPSの常任理事会	東京	支部長	
1月25.26日	新春交流会	志摩市	29名	
1月29日	相談員研修会	難病相談センター	支部長	
2月3日	難病相談	難病相談センター	支部長	
2月5日	臨床倫理委員会	三重大学	支部長	1名
2月6日	研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
2月22日	理事会	東京	支部長	
2月28日	RDD	障害者相談センター	支部長	
2月28日 3月1日	近畿地区リーダー研修会	大阪	支部長	
3月3日	臨床倫理委員会	三重大学	支部長	1名
3月7.8日	支部長会	横浜	支部長	
3月17日	研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
3月25日	NPO 法人三重難病連理事会	難病相談センター	支部長	
3月29日	役員会	松阪市公民館	7名	4名
3月29日	第2回花見大会	松阪市公民館	35名	

第2号議案. 平成26年度決算報告

収入の部

(単位: 円)

項目	細目	予算額	決算額
本部より支部支援金		50,000	50,000
QOL 対策費		20,000	20,000
総会(参加費)	700×32名 1000×7名	21,000	29,400
総会(弁当代)	800×42名	24,000	33,600
総会懇親会参加費	懇親会参加費 3000×21名		63,000
新春交流会参加費	29名一部宿泊無し	150,000	304,000
難病センターより		70,000	70,000
寄付		70,000	70,000
雑収入	中日新聞、賛助会員、 網膜基金からの還付金、 共同募金他	65,000	165,019
合計		470,000	805,019

支出の部

(単位: 円)

項目	細目	予算額	決算額
役員行動費		77,000	79,970
総会の印刷費		3,000	2,194
総会の通信費		3,000	3,242
総会の講師謝礼等		80,000	46,600
会場使用料等		25,000	24,740
ボランティア交通費等		10,000	6,000
総会の弁当代		24,000	38,400
総会の懇親会費			81,804
三重難病連の会費		20,000	20,000
会報の印刷費		4,000	1,664
会報の通信費		1,000	1,591
新春交流会の印刷費		1,000	0
新春交流会の通信費		2,000	0
新春交流会の講師の謝礼等		10,000	10,000
ボランティア交通費等		10,000	0
新春交流会の食事代等		150,000	295,830
勉強会での講師謝礼等		25,000	37,500
勉強会のボランティア交通費等		5,000	886
事務費		10,000	14,524
本部への寄付、網膜基金への会費など			80,746
予備費		10,000	
基金積み立て			59,328
合計		470,000	805,019

第3号議案. 平成27年度事業計画(案)

- ① 2016年に「世界網膜の日」を三重で開催するので、実行委員会を開催して計画遂行に努めます。
- ② 2016年台北での世界大会に三重支部も参加し、そのための準備委員会を設立してその計画を作り、参加をつのります。
- ③ 2016年開催の網膜脈絡膜変性フォーラムの参加とその開催に協力します。

5月10日	理事会
5月24. 25日	JPAの総会&国会行動
6月7日	定期総会&医療講演会
6月14日	鈴鹿地区相談会
6月21日	「世界網膜の日」の実行委員会
6月26. 27日	JRPSの総会&常任理事会
7月26日	津地区相談会
8月2日	サマースクール
9月13日	四日市地区相談会
9月20日	役員会&歩行訓練
9月25. 26日	世界網膜の日
10月16. 17日	東海北陸リーダー研修会
10月25日	松阪地区相談会
11月8日	秋の交流会 南勢地区を予定
11月29日	尾鷲地区相談会
1月24日	新春交流会 中勢地区を予定
2月22日	理事会
3月27日	第3回花見大会&役員会 北勢地区を予定

第4号議案 平成27年度予算(案)

収入の部

(単位：円)

項目	細目	金額
本部より支部支援金		50,000
QOL 対策費		20,000
総会(参加費)	700円×30名	21,000
総会(弁当代)	800円×30名	24,000
新春交流会(参加費)	5000円×30名	150,000
難病センターより		70,000
寄付		90,000
助成金	共同募金などから	65,000
合計		490,000

支出の部

(単位：円)

項目	細目	金額
役員行動費		97,000
総会(印刷費)		3,000
総会(通信費)		3,000
総会(講師謝礼等)		80,000
総会(会場使用料等)		25,000
総会(ボランティア交通費等)		10,000
総会(弁当代)	800円×30名	24,000
三重難病連の会費		20,000
会報(印刷費)		4,000
会報(通信費)		1,000
新春交流会(印刷費)		1,000
新春交流会(通信費)		2,000
新春交流会(講師謝礼等)		10,000
新春交流会(ボランティア交通費等)		10,000
新春交流会		150,000
勉強会(講師謝礼等)		25,000
勉強会(ボランティア交通費等)		5,000
事務費		10,000
予備費		10,000
合計		490,000

第5号議案 その他

- ① 役員を選任について

SSKA ああるぴい

—◇ 編集後記 ◇—

1. 今回の会報の発行にあたって、いろいろと投稿をしていただき、ありがとうございました。
タイムリーにと思っていてもなかなか実現しないのが今までです。
でも1年に1回は必ず発行していきたいので、ボランティアをしてくださる方がみえましたら、是非お知らせをお願いします。
2. 世界網膜の日は全国から参加者があり、県外の人たちとの交流ができる場なのでぜひ参加をしましょう。
3. メールをされている方で、まだ支部長までメールアドレスを連絡していただいていない方は、是非連絡をお願いします。メールだと経費と時間が大幅に短縮されますので、ご協力をお願いします。
4. 2016年にRI（私たちの世界の本部）の大会が台北で開催をされます。
それにも三重支部単独でツアーを作って参加する予定です。
旅行費用を今から貯めておかれるのもいいかも知れません。

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

編集：RP三重会報編集部 河原洋紀
〒515-0847
松阪市岩内町614
（電話・FAX） 0598-58-2664
（e-mail） hk2664@aqua.ocn.ne.jp

定価200円